

特 別 活 動

1 教育課程研究協議会の経過（平成21年度～24年度）

平成21年度から24年度までの手引の概要及び教育課程研究協議会の概要は、次のとおりである。

	手引の概要	説明及び協議の概要
平成 21 年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 改訂の基本方針 <ol style="list-style-type: none"> (1) 各活動・学校行事の目標の明確化 (2) 体験活動の一層の充実 (3) 言語活動の充実・活用の重視 (4) 社会的な自立を目指した在り方生き方の指導の重視 (5) 共通に取り扱うべき内容の明示と学校の創意工夫の尊重 2 主な改訂事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 目標 (2) 内容 3 指導計画の作成と内容の取扱い <ol style="list-style-type: none"> (1) 特別活動の全体計画の作成 (2) 全体計画（例） (3) 内容の取扱いについての配慮事項 4 質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームルームでの主な活動内容及びその指導に当たっての配慮事項について ・生徒会活動での主な活動内容及びその指導に当たっての配慮事項について ・学校行事での主な活動内容及びその指導に当たっての配慮事項について ・ボランティア活動や就業体験など体験的な活動について 	<ol style="list-style-type: none"> 1 説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 特別活動の目標及び内容の構成と取扱いの改訂事項について (2) ホームルーム活動、生徒会活動及び学校行事の目標の明確化について (3) 特別活動の全体計画の作成について (4) 内容の取扱いについての配慮事項について (5) ホームルーム活動の指導に際しての留意点について (6) 生徒会活動の指導に際しての留意点について (7) 学校行事の指導に際しての留意点について
平成 22 年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 特別活動の目標及び各活動・学校行事の目標を理解するための観点について 2 特別活動の全体計画や各活動・学校行事の年間指導計画の作成に当たって配慮する事項について 3 特別活動と各教科・科目との関連について 4 特別活動と道徳教育との関連について 5 特別活動と総合的な学習の時間との関連について 6 総合的な学習の時間の実施による特別活動の代替について 7 特別活動と生徒指導等との関連について 8 入学式や卒業式等における国旗及び国歌の取扱いについて 	<ol style="list-style-type: none"> 1 説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 特別活動の目標を理解するための観点について (2) 特別活動の全体計画や年間計画の作成に当たって配慮する事項について (3) 特別活動と各教科・科目等との関連について (4) 入学式や卒業式等における国旗及び国歌の取扱いについて
平成 23 年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 指導計画の作成と内容の取扱い <ol style="list-style-type: none"> (1) ホームルーム活動 (2) 生徒会活動 (3) 学校行事 2 言語活動を充実する指導の実践例 	<ol style="list-style-type: none"> 1 説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 指導計画の作成と内容の取扱いについて (2) 言語活動を充実する指導の実践例について 2 提言 <p>伝え合う力を培い、豊かな心を育む体験活動の充実～「高校生ステップアップ・プログラム」の取組を通して～</p>
平成 24 年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 評価方法の改善・充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 個々の生徒の活動状況とその成長・発達の評価 (2) 指導体制等の評価 2 特別活動における評価の実践例 <ol style="list-style-type: none"> (1) 個々の生徒の活動状況とその成長・発達の評価（例） (2) 指導体制等の評価（例） 	<ol style="list-style-type: none"> 1 説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 評価方法の改善・充実について (2) 特別活動における評価の実践例について 2 提言 <p>生徒指導との関連を図る特別活動「映画制作を通じたコミュニケーション能力育成について」</p>

2 学校行事の活動内容

(1) 「儀式的行事」に関すること

儀式的行事については、学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行う必要があり、具体的な活動としては、次のような例が考えられる。また、実施する際には次の点に留意することが大切である。

<p>【具体的な活動例】 ○入学式 ○卒業式 ○開校記念日における儀式 ○始業式 ○終業式 ○対面式 ○朝会 など</p>
<p>【実施上の留意点】 ア 実施する個々の行事のねらいを明確にし、これを生徒に十分に理解させるとともに、できる限り生徒にいろいろな役割を分担させ、使命感や責任感の重要性についての自覚を深める機会とすること。 イ いたずらに形式に流れたり、厳粛な雰囲気を損なうことなく、各行事のねらいを明確にし、絶えず行事の内容に工夫を加えること。 ウ 入学式や卒業式などにおいては、国旗を掲揚し、国歌を斉唱すること。</p>

(2) 「文化的行事」に関すること

文化的行事については、平素の学習活動の成果を総合的に生かし、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行う必要があり、具体的な活動としては、次のような例が考えられる。また、実施する際には次の点に留意することが大切である。

<p>【具体的な活動例】 ○文化祭（学校祭） ○音楽会（合唱祭） ○弁論大会 ○各種の発表会 ○講演会 ○音楽鑑賞会 ○映画や演劇の鑑賞会 ○伝統芸能等の鑑賞会 など</p>
<p>【実施上の留意点】 ア 生徒の自発的な創意工夫を生かしながら学習活動の成果を発表し、相互の努力を認め合い、協力して活動を展開するように援助すること。同時に、生徒がそれぞれ自己の成長の跡を振り返り、さらに自己を一層伸長させようとする向上の意欲を高めるように指導すること。 イ 教師と生徒の信頼関係及び生徒相互の望ましい人間関係を深める機会とすること。 ウ 生徒の発達の段階や実態に配慮し、生徒の希望や意見を生かし、この行事の一部については、生徒が自ら活動の計画を立て、意欲的に活動できるように援助すること。</p>

(3) 「健康安全・体育的行事」に関すること

健康安全・体育的行事については、心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行う必要があり、具体的な活動としては、次のような例が考えられる。また、実施する際には次の点に留意することが大切である。

<p>【具体的な活動例】 ○健康診断 ○疾病予防指導 ○交通安全を含む安全指導 ○薬物乱用防止指導 ○避難訓練 ○防災訓練 ○健康・安全に関する意識や実践意欲を高める行事 ○体育祭（運動会） ○各種の球技大会や競技会 など</p>
<p>【実施上の留意点】</p>

ア 安全に関する行事については、事故防止に対する知識や態度を体得させるとともに、災害や犯罪などの非常事態に際し、沈着、冷静、迅速、的確に判断して対処する能力を養い、自他の安全を確保することのできる能力を身に付けさせること。また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為の有害性や違法性、防犯や情報への適切な対処や行動について理解させ、正しく判断し行動できる態度を身に付けさせること。

イ 体育に関する行事については、運動に親しみつつ体力を向上させるというねらいが十分に達せられるようにするとともに、教育的な価値を発揮するよう努めること。また、日頃の学習の成果を学校内外に公開し、発表することによって、学校に対する家庭や地域社会の理解と協力を促進する機会とすること。

(4) 「旅行・集団宿泊的行事」に関すること

旅行・集団宿泊的行事については、平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行う必要があり、具体的には、次のような例が考えられる。また、実施する際には次の点に留意することが大切である。

【具体的な活動例】

○遠足 ○修学旅行 ○移動教室 ○宿泊研修 ○野外活動 など

【実施上の留意点】

ア 生徒の自主的な活動の場や機会を十分に考慮し、生徒の役割分担、生徒相互の協力、きまりや約束の遵守、人間関係を深める活動などの充実を図ること。

イ 地域社会の社会教育施設等を積極的に活用するなど工夫し、十分に自然や文化などに触れられるよう配慮すること。

(5) 「勤労生産・奉仕的行事」に関すること

勤労生産・奉仕的行事については、勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、就業体験などの職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験を得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行う必要があり、具体的には、次のような例が考えられる。また、実施する際には次の点に留意することが大切である。

【具体的な活動例】

○就業体験（インターンシップ） ○上級学校や職場の訪問・見学 ○各種の生産活動
○全校美化の行事 ○地域社会への協力や学校内外のボランティア活動 など

【実施上の留意点】

ア 学校行事における就業体験など、望ましい勤労観や職業観を育成する活動は、学校教育全体として行うキャリア教育の一環として位置付け、自己の能力・適性等についての理解を深め、職業や進路、人間としての在り方生き方にかかわる啓発的な体験が行われるようにすること。

イ 生徒がボランティア活動について学んだり、体験したりして、ボランティア精神を養い、自己の在り方生き方を見つめ、将来社会人としてボランティア活動に積極的に参加していく意欲や態度を養うこと。

Topic

入学式などにおける国歌の取扱い

学習指導要領には、「入学式や卒業式などにおいては、その意義を踏まえ、国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導するものとする。」と示されている。国際化の進展に伴い、日本人としての自覚を養い、国を愛する心を育てるとともに、生徒が将来、国際社会において尊敬され、信頼される日本人として成長していくためには、国歌に対して一層正しい認識をもたせ、それを尊重する態度を育てることが求められている。入学式や卒業式は、厳粛かつ清新な雰囲気の中で、新しい生活への動機付けを行い、学校、社会、国家への所属感を深める上でよい機会であり、このような意義を踏まえ、入学式や卒業式においては、国歌を斉唱するよう指導することとしている。

国歌の指導に当たっては、入学式直前のホームルームや卒業式の予行練習等において、歌唱指導を複数回行ったたり、入学式や卒業式では、国歌の歌詞や楽譜を記載した「しおり」を配付したり、ステージ横に国歌の歌詞をプロジェクターで投影するなどして、歌詞や旋律を正しく歌えるよう工夫するとともに、国歌に対する正しい認識をもたせ、それを尊重する態度を育むことが大切である。



【国歌の歌詞をプロジェクターで投影】

【指導・評価計画の展開例】

	内 容	指導上の配慮事項等	評価に関する配慮事項等
ホ ム ル ム	出席確認		
	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名を確認する ・日程を確認する。 ・入学式の目的を生徒に理解させるとともに、厳粛な態度で臨むよう指導する。 ・服装等の指導をする。 	<p>【関心・意欲・態度】 新たな学校生活に関心をもち、入学式に意欲的に取り組もうとする。</p> <p>【知識・理解】 礼法の重要性を認識するとともに、入学式における礼法が式の厳粛な雰囲気を保つことに役立つことを理解する。</p> <p>【知識・理解】 国旗及び国歌の意義並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解する。</p>
入 学 式	最終確認	<ul style="list-style-type: none"> ・着席時や斉唱時の姿勢等について最終確認を行う。 	
	入場	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラスバンドの演奏（BGM）に合わせて、入場する。 ・伴奏に合わせて、プロジェクターで投影された国歌や校歌を、在校生代表（生徒会、合唱部等）や保護者、教職員と一緒に斉唱する。 ・呼名時は、大きな声で返事をし、起立する。 <p>※在校生への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の伝統を受け継いでいる者としての自覚を促し、厳粛な雰囲気を乱すことなく、参加するよう指導する。 	<p>【関心・意欲・態度】 入学式の意義を理解し、入学式にふさわしい態度で取り組もうとする。</p> <p>【思考・判断・実践】 学級や学校の一員としての自己の役割と責任を自覚し、入学式の意義を踏まえ、校歌や国歌の歌詞や旋律を正しく歌っている。</p> <p>※評価方法は、すべて観察法とする。</p>
	退場		